

葉酸を摂取する健康増進運動（坂戸市） 埼玉県坂戸市

機能性の高い食品の開発・生産・販売に関する取組

+

産学官協力

1 概要

① 取組の経緯

- 坂戸市は、平成18年度に、①市内にある3つの大学(女子栄養大学・城西大学・明海大学)と健康づくりの連携協力協定を締結したこと、②女子栄養大学の研究で認知症や脳梗塞などに予防効果があるとされる「葉酸」に着目したことから、「葉酸」の摂取を健康政策のツールとして取り入れることを決定。

② 取組の特徴

- ビタミンB群の一種である葉酸を1日400マイクログラム摂取する運動。
- 「さかどルーコラ」など葉酸を多く含む「坂戸ブランド野菜」のブランド化。
- ポスターや冊子などで地元産野菜と含まれる葉酸量を紹介。
- 葉酸摂取の理解促進を目的とした認知症予防と食の市民講座の実施。
- 基準に沿ったメニューや食品提供店舗を「食を通じた健康づくり応援店」として認定(平成26年8月現在：48店)し、商工会が「さかど葉酸いただきマップ」を作成。



(異業種・各省連携等)

- 坂戸市
- 大学
- 民間企業
- 生産者 など

2 今後の展望と課題

- 市民の「葉酸」についての認知度は上がっていることから、今後も坂戸産の農産物に着目しつつ、野菜摂取などの食生活改善運動を進めるとともに、健康づくり応援店舗の拡大に努め、健康づくりを通じた地域の活性化を推進
- 食生活の改善など、健康づくりのために市民の行動変容を促すことが必要。
- 市民の食生活改善を応援するための環境をつくるため、農業・商業等の産業連携を進めることが必要。

(埼玉県坂戸市)

